

# はえなわ漁業で漁獲されたトラフグの全長別漁獲尾数

福島県水産資源研究所 資源増殖部

## 1 部門名

水産業—資源管理—延縄

## 2 担当者名

岩崎高資

## 3 要旨

本県で漁獲量が急増しているトラフグについて、漁獲実態を明らかにし、資源管理方策の検討のための基礎資料とするため、漁獲物の全長測定調査を行った。2022年9月～2023年1月（以下、2022年漁期とする）のはえなわ漁獲尾数は約17,600尾と推定され、全長組成は全長43cmにモードを持つ単峰型を示したことから、2～4歳魚が主体と考えられた。また、2023年漁期は全長40cm未満の1歳魚の漁獲尾数が多く、昨年主体であった全長40～50cmの漁獲尾数が減少した。前漁期と漁獲物の年齢組成が大きく変化している可能性がある。

- (1) 相馬地方卸売市場原釜魚市場に水揚げされたトラフグはえ縄漁獲物について、2022年漁期、2023年10月に毎月4～5回の頻度で全長測定調査を実施した。調査結果から、月別の全長組成を作成するとともに、月別調査重量を推定し、月別の漁獲重量比で引き延ばして漁獲尾数をもとめた(図1)。
- (2) 2023年10月の全長別漁獲尾数を前年同時期と比較した結果、2023年10月の全長組成は全長38cmにモードをもつ2峰型を示し、全長43cmにモードをもった2022年10月の組成と大きく異なっていた(図2)。

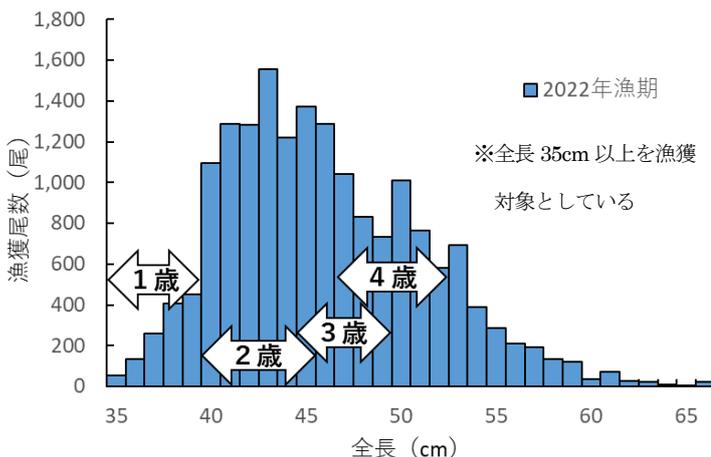


図1 2022年漁期の全長別漁獲尾数

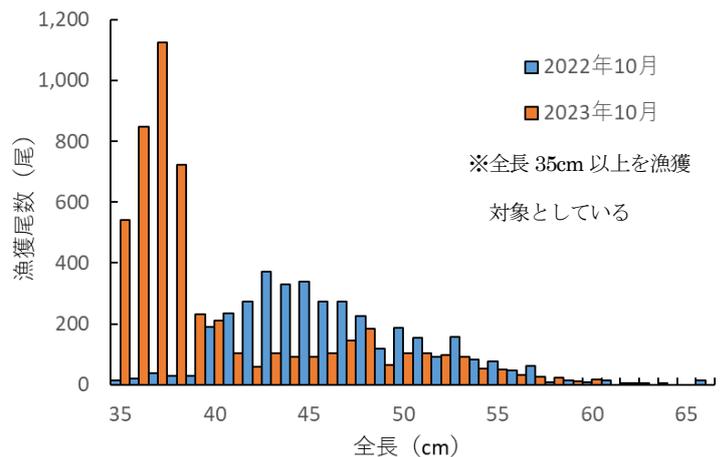


図2 10月の全長別漁獲尾数

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 沿岸性底魚類の生態と資源動向の解明

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 水産研究・教育機構 令和3年度トラフグ日本海・東シナ海・瀬戸内海系群の資源評価